

2020年2月10日

各位

ルクサナバイオテック株式会社への出資に関するお知らせ

日産化学株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 取締役社長:木下 小次郎、以下「日産化学」)は、安全性の高い新規核酸医薬品の創出を目指すルクサナバイオテック株式会社(本社:大阪府吹田市、代表取締役社長:佐藤 秀昭、以下「ルクサナバイオテック」)の第三者割当増資を引受け、出資金の払込を完了いたしましたので、お知らせします。

日産化学とルクサナバイオテックは、既に2018年7月より、両社の保有する創薬基盤技術を結集し、新たな核酸構造を有する新規核酸医薬候補品の創出を目的とする共同研究を開始しておりこれまでに効果的な治療法がなかった疾患に対する核酸創薬において、順調に研究を進めて来ています。今後、複数の創薬プロジェクトを共同展開することを予定しており、両社で、日本発の革新的核酸医薬品の創製を目指し、お互いの強みを活かしてまいります。

核酸医薬品について

核酸、または修飾核酸が直鎖上に結合したオリゴ核酸を活性本体とし、タンパク質の発現を伴わずに疾患の治療に繋がる標的分子に直接作用することで薬効を示します。従来の低分子医薬品や抗体医薬品に比較し、標的分子に対して高い結合特異性と親和性を示すことから安全性が高く、かつ抗体医薬品に比べ安価に大量生産可能であるため医療経済の観点からも魅力的な次世代医薬品として期待されています。

ルクサナバイオテック株式会社について

ルクサナバイオテックは、大阪大学大学院薬学研究科・小比賀聡教授の新規修飾核酸に関する研究成果を社会実装する目的で、2017年12月に設立されました。修飾核酸とは、天然の核酸(DNA、RNA)に化学修飾を加えることで物性を変化させ、天然の核酸にはない人工的な機能を有した核酸を意味します。

ルクサナバイオテックは、修飾核酸技術のモノマー群(オリゴ核酸を構成する部品素材)と、これらのモノマー群をオリゴ核酸に設計する配列デザインノウハウをコア技術としており、これらの技術を元に、製薬メーカーと核酸医薬品を共同開発することと、アカデミアの疾患研究をベースにした自社開発を行うことにより、創薬シーズ創出を行うことを主事業としています。詳細はホームページをご覧ください。<https://luxnabiotech.co.jp/>

日産化学株式会社について

日産化学は、「人類の生存と発展に貢献する企業グループ」というコーポレートビジョンの実現に向け、これまで培ってきたコア技術を駆使し、新製品の開発、新事業の創出にまい進しています。

医薬品事業としては、1982年に進出して以来、ケトプロフェンの外用製剤、カルシウム拮抗剤、スタチン系脂質異常症治療剤を上市してきました。今後も精密有機合成技術、戦略的に構築した化合物ライブラリーおよび最先端評価機能を活用し、世界中のかけがえのない生命と笑顔のために、画期的新薬の研究開発に挑戦し続けてまいります。詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.nissanchem.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

日産化学株式会社 経営企画部 CSR・広報室
(東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング)

TEL:03-4463-8123

E-mail: csr_pr@nissanchem.co.jp